

学長メッセージ

4月からの教育活動について

2022年3月14日

学長 星 文彦

新型コロナウイルス感染状況はピークアウトの兆しを見せていますが、埼玉県におけるまん延防止等重点措置の期間は3月21日まで延長されている状況であり、引き続き感染対策には気を緩めることは出来ません。現在は、まん延防止等重点措置等を踏まえ、本学の警戒レベル*¹は「3」、教育活動指針*²は「2」として対応しているところです。

しかしながら感染拡大が始まってから既に3年目を迎えています。講義や実習、研究活動、サークル活動、学生間交流、等々、様々な制約を受けながら大学生活を送ってきていただきました。その結果、大学生として経験すべき人生の糧の獲得、あるいは目標を成就する上での影響が大きかったことも否めません。

こうした感染状況の長期化による影響にも目を向けながら、新型コロナウイルスについての科学的根拠に基づく正しい理解、この2年間における私たちの対応経験を踏まえ、感染予防行動を引き続き徹底した上で、通常の大学生活、特に本学における「学習コミュニティ」の再建に乗り出すことが必要です。

すなわち「ウイズコロナ」を踏まえた、いわゆる「ニューノーマル」な大学生活の実現に向け、保健医療福祉を学ぶ学生としての自覚と勇気をもって次のステップに進んでいかなければなりません。

このような観点から、本年4月からの教育活動については遠隔授業を効果的に利用しながらも、基本的には通常の授業形態、すなわち対面授業といたします。

もちろん、今まで以上に感染予防行動と感染対策を徹底することは言うまでもありません。当然、警戒レベルや教育活動指針については、今後、学生生活および研究活動、社会貢献活動と合わせて検討していきますが、まずは教育活動のあり方について基本的な考え方を示すものです。

学生の皆さんには、そのための準備を進めて頂くようお願いいたします。

新たな展望の実現に向けて、共に力を合わせていきましょう。

【参考】

- * 1 新型コロナウイルス感染防止のための埼玉県立大学の対応について
(2022.1.17)

<https://www.spu.ac.jp/Portals/0/Newsfile/kikaku/korona/covid-19taiounituite220117.pdf>

- * 2 教育活動指針 (2022.1.17)

<https://www.spu.ac.jp/Portals/0/Newsfile/kikaku/korona/kyouikuisin220117.pdf>